

最終章

クログロ乗っ込み攻略法



例年、梅の花が満開の頃、海の中ではクロが乗っ込みの最盛期を迎える。大型グロ狙いとしては絶好のシーズン。しかし、この期間、水温の乱高下に伴いクロの動きも鈍く予想以上に苦戦を強いられることも。さて、そのような状況下、クロの攻略法とは!?

TEXT/野間辰美

皆さん、クロは釣れていますか? シーズンはどこも釣果は遅れ気味だったようですが、今月に入ってからにかクロも帳尻を合わせるかのように各地で好釣果の話も聞かれるようになりました。また、この号が出る頃は、抱卵したパンパンのデカグロが狙えるラストチャンスになるかと思えます。周年で50cmアップを狙えるのは、やはりこの時期が一番でしょう。ただ、この時期は波高日が多く釣行もままなりません。絶対に無理のない安全な釣行を心掛け、乗っ込み終盤のクロ釣りを楽しみましょう!

ポイント選びが第一
仕掛けは太目、掛けたら絶対バラさない!!

まだまだこれまで以上のデカグロを釣りたいと思う人のために、基本的な乗っ込みクロの攻略法を書き綴ってみました。

産卵期のクロ釣りを組み立てて釣行しましょう。

●磯選び

まずは、今一度押さえておきたいことは、2月後半から3月期にかけてクロは産卵直前か産卵に入っています。海水温もこれからまだまだ下がり、この時期の南九州の平均的な海水温は高い時で17度位、時には15度を下回る時もあります。そのような水温の乱高下はクロの動きを鈍らせる最大の要因にもなります。

したがって、クロはそう簡単に浮いてくるとは考えられず、また、神経質にもなっています。これらの事を念頭におきながら、

それではまず釣り場についてですが、磯は特にどこが良いと言う事はないのですが、とりあえずは普段に行き慣れている磯がよいと思います。

ただこの時期は天候が安定せず、瀬渡船が出ないことが多いので、天気予報を確認し、風裏がある磯場に釣行するのが得策でしょう。また、常通する所で渡船が出ない場合、新たな釣り場にチャレンジしたりすると緊張感とともに気も引き締まり、思いがけないデカグロが釣れた